

公益社団法人 日本地下水学会
2017年度 第5回 理事会議事録

1. 開催日時：2017年8月5日（土） 13:30～18:00
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-0073千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：14人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	坂本 大	○	理事	白石 知成	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	瀬尾 昭治	○
理事	竹内 真司	○	理事	谷口 真人	○
理事	徳永 朋祥	○	理事	中川 啓	×
理事	中島 誠	○	理事	古川 正修	○
理事	町田 功	○			

5. 出席監事数：1人 ○：出席、×：欠席

監事	平山 光信	○	監事	深田 園子	×
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

2017年7月11～13日 Australasian Groundwater Conference 2017（ニューサウスウェールズ大学）に出席し、アジアオセアニア地域の水文地質学研究の活性化について議論した。2018年9月16～21日に韓国 Daejeonで開催される44th IAH Congress を契機に枠組み作りを検討する。2017年9月20～22日に済州島で開催されるJeju world water forum 及び2017年10月19～20日にソウルで開催される韓国地下水学会で準備を始める。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 伊藤 浩子

10. 理事会資料

- 資料 1 : 2017年度 第5回理事会 議事次第
- 資料 2 : 2017年度 第4回理事会議事録 (案)
- 資料 3 (1種) : 企画委員会資料
- 資料 4 (2種) : 行事委員会資料
- 資料 5 (2種) : 渉外委員会資料 (1種は当日配布)
- 資料 6 (2種) : 編集委員会資料
- 資料 7 (欠番)
- 資料 8 (1種) : 市民コミュニケーション委員会資料
- 資料 9 (1種) : 広報・IT委員会 (当日配布)
- 資料10 (1種) : 若手支援・男女共同参画委員会資料
- 資料11 (2種) : 技術者継続教育委員会資料
- 資料12 (1種) : 会計委員会資料
- 資料13 (欠番)
- 資料14 (7種) : 総務委員会資料
- 資料15 (1番) : 水循環基本計画対応WG資料

【審議事項】

第1号議案：(資料2)

- ・ 2017年度 第4回理事会議事録 (案) の内容が確認され、承認された。

第2号議案：(総務：資料14)

総務委員長より資料内容の説明があり、以下の審議がなされた。

1. 会員獲得、寄付金獲得に向けた活動について

① プロジェクトチームの新設について

- ・プロジェクトチームは新設せず、理事会の中で課題を一つずつ審議していく。

② 会員獲得のためのアイデアについて

- ・学生に対しては、講演会での発表を契機に入会してもらえるよう、学生が発表しやすい環境を作って学生の発表を促す。また大学の教員宛に、会長名にて、講演会での積極的な学生発表を依頼する文書を出す。
- ・講習会の内容などを具体的に文書化して、各社(大学)に若手技術者(研究者)の参加を呼びかける。
- ・自治体の特別会員については、新規入会には、きっかけづくりが必要。自治体の特別会員を別に新設した方がよい。まずは、HPの「特別会員」リストの表示を官民で切り分ける。
- ・自治体会員のメリットは主に情報収集であるので、シンポジウムの講演要旨を送付するなどしてはどうか(ただし、非売品の刊行物の扱いは慎重にすべき)。
- ・水循環基本計画対象の27地域に対して、本学会入会のメリット等を記載した文書を会長名で送付する。
- ・特別会員(法人)の新規入会に対しても、社内稟議をあげるためには会長名で本学会入会のメリット等を記載した文書があった方が良い。⇒総務委員会で文案を検討する。

③ 寄付獲得のアイデアについて（寄付金による収入の増加）

- ・学会の会費支払いの際に寄付を募る場合、振込票を2枚に分けるなどひと手間が必要。
- ・60周年事業というきっかけがあった方が、寄付は募りやすい。
⇒60周年事業の具体的な運営方針について議論を深めてから、寄附についても再度検討する。
- ・高額寄付については、使途を学会側で選択できるよう工夫する。寄付者には感謝状を贈る。

④ 会費以外の支出削減、その他の予算確保のためのアイデアについて

- ・謝金・事務所経費・交通費の削減について、次回理事会で具体案を審議する。
- ・外部資金については、各委員会に持ち帰って、次々回の理事会で審議する。
- ・学会誌のペーパーレス化は、特に時間をかけて審議する必要がある。

2. 入退会員について

- ・新規入会者について承認された。

第3号議案：（企画：資料3）

- ・ NGWA(National Ground Water Association) のDarcy Lecture について
- ・ 春季講演会（5/19）の前日（5/18）に、Darcy Lectureを本学会から依頼するのが最も現実的。
- ・ 1回の講義であれば、渡航費はNGWAで負担していただけるようお願いする。
- ・ まず当学会で日程を決定し、その予定を各大学にアナウンスして、大学での講義依頼を個々に検討していただく。その際、国内の交通費は主催大学に負担してもらう。

第4号議案：（渉外：資料5）

- ・ JpGU 平成29年度代議員選挙の変更事項をふまえ、「大気水圏科学」「地球人間科学」の代議員枠に、当学会から推薦者を選ぶ。
- ・ 詳細はメールにて継続審議とする。

第5号議案：（YEPS：資料10）

- ・ 「平成28年度 若手地下水研究助成」の成果報告書に対する賞の名称を「平成28年度 若手地下水研究助成奨励賞」とする（審査委員からの提案）。
- ・ 本賞は助成対象の研究が適切に遂行されたか、という観点から選考を行った。
- ・ 審査委員の選考により、本賞は最終報告書が提出された2名に授賞することが決定し、本理事会にて承認された。最終報告書が提出されていない1名に対しては、最終報告書が提出されてから改めて授賞の可否を判断する。
- ・ 授賞者は秋季講演会にて表彰を行う。賞状の文案は総務委員会で作成、表彰状は事務局で作成する。（横書き、テーマ記載）。

第6号議案：（技術者継続教育：資料11）

- ・ 技術者継承教育委員長より、学会 HP の「技術者継続教育 CPD 登録について」のリンク資料について説明があり、承認された。

第7号議案：（会計：資料12）

- ・ 会計委員長より資料の説明があり、準会員の会員資格喪失処分について審議された。連絡がとれない準会員は、会員資格喪失処分とする。それ以外の方は、再度連絡を取るよう努め、次回理事会にて結果報告、再度審議する。
- ・ 3年会費滞納の正会員には、理事の中で分担して直接連絡する。2年会費滞納の正会員は、理事または事務局から連絡。次回理事会で、対応者と納入状況を報告する。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料3）

企画委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 7月1日に実施されたセミナー「津波に伴う地下水影響とその後の回復」について報告された。
- ・ 8月3日～4日に実施されたセミナー「地下水シミュレーション（入門）講習会」について報告された。来年への継続的な参加を呼びかけている。
- ・ 10月5日～6日に実施予定の「はじめての揚水試験講習会」の開催についての検討・準備状況が報告された。
- ・ 2017年度第2回企画委員会（9月9日実施）の予定について報告された。

2. 行事委員会（資料4）

行事委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 10月12～14日に実施予定の2017年秋季大会（計画）について報告された。発表件数53件（資料訂正）
- ・ 第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会について報告された。
- ・ 2018年春季・秋季大会の予定・計画について報告された。

3. 渉外委員会（資料5）

渉外委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ HRL誌分担金の振込みについて報告された。
- ・ 合同誌化の学会誌会告掲載原稿の作成・構正終了について報告された。
- ・ JpGU2018年大会のプログラム委員選出について報告された。

4. 編集委員会（資料6）

編集委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 8月号発行準備・編集状況について報告された。
- ・ 若手ページWGの状況について報告された。
- ・ 特集、紙面講座の強化についての計画内容が報告された。

5. 調査・研究委員会（報告事項なし）

6. 市民コミュニケーション委員会（資料8）

市民コミュニケーション委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2017年度委員会活動実績について報告された。
- ・ 「地下水の絵本」について、委員会で企画書のたたき台を作成中。
⇒企画書の内容や出版方針については、理事会での確認・審議が必要である。次回理事会で詳細を審議する。

7. 広報・IT委員会（資料9）

- ・ 広報・IT委員長より、活動状況及び学会HPへのアクセス状況について報告された。

8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）（資料10）

YEPS委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 平成28年度「若手地下水研究助成」成果の公表について、現状報告がなされた。成果報告書に記載の「概要」は、規定の第8条に従い、学会誌で公表しても差支えないと判断される。そのため、最終報告書に記載の「概要」は、YEPS委員会として学会誌（すぷりんぐ等）に掲載する。
- ・ 秋季講演会における「若手セミナー」開催準備の状況について報告された。

9. 技術者継続教育委員会（資料11）

- ・ 技術者継続教育委員長より、ジオスクーリングネット掲載行事について報告された。

10. 会計委員会（資料12）

- ・ 会計委員長より、会員数・会費納入状況・収入・支出状況（7月31日現在）について報告された。

11. 表彰委員会（資料なし）

- ・ 表彰委員長より、従来の「研究奨励賞」の名称は変更しないとの報告がなされた。

12. 水循環基本計画対応による会員増加構想（資料15）

- ・ 蛭原理事より、学会誌を活用した自治体間の情報交換の場の創出案として、「紙面講座による行政、学術、自治体の各視点からのレビュー」（案）について報告された。
- ・ 自治体の担当者と学会関係者（蛭原理事、編集委員等）が座談会を設け、その内容を掲載してはどうか。秋季講演会の際に企画してはどうか。⇒内容を修正し、メール審議とする。

以上をもって議事が終了したので、議長は18時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2017年10月7日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監事：平山 光信

